

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三-15

TEL 027-2555-3434

FAX 027-2555-3435

http://www.neues-asahi.jp

「知」の宝庫である図書館は多くの人々が利用する公共の場です。

県立図書館や市立図書館、さらに公民館に併設されている分館には、それぞれの雰囲気があり、心身ともにホッと出来る空間となっています。新刊の棚をひと通り見てから専門書の棚に向かい一冊を抜き取っては棚に返し・・・そんな事を繰り返しているうちに時間はアツという間に過ぎてしまいます。

講演会で来橋された作家の本の背表紙の名前には特別な想いがあります。手に取り、ページを開き、文章に目を通して、そして逝ってしまった、消えてしまった声を文章の中から探し求めます。不思議な事に行間から生々しい声が聞こえてきて、語り始めます。

急速な社会の変化の中でも不変的に変わらない大切なものは失いたくはないと切に思います。

毎日多くの人々とお会いすることもあり、また展覧会や出版、その他の事で私的なお話をうかがうこともあり、その距離感はまちまちですが、「素」で対面する事の大切さを感じます。

数回の出会いであろうと何十年の付き合いであろうと「素」で対面している時点では何もその差はありません。ある距離感を持ちつつも真摯にお話を聞く楽しみは心身にしみわたってきます。

読書量としては決して多い方ではないですが、作家の言葉に深く耳を傾けて声を聞く時間は実に充実したものです。

最近、吉本隆明「信」の構造「対話篇」非知へ」という本を手に取りました。良寛をめぐる対話を水上勉。家・隣人・故郷や聖書については小川国夫。その他に数人との対話が盛り込まれています。

宗教の核にある「信」と「不信」との過程や構造、そして文学との関係と私にとっては、なかなか難しい内容もあり、拾い読みせざるを得ない分もありましたが、わからないなりに何度も読み返してみると声は聞こえてきます。

昨夜、Eテレ につぼんの芸能 玉三郎かぶき女方考「壇浦兜軍記 阿古屋」を見ました。平家滅亡後に源氏方に追われる平家武将の景清の行方詮議のため、引き立てられた恋人の阿古屋が景清の居場所は知らぬと言う。代官の重忠は阿古屋に、偽りがあれば演奏の音色が乱れるとして、琴、三味線、胡弓の三曲を演奏させ、見事な演奏で開放される・・・という内容です。玉三郎の解説をまじえ、「阿古家」の美しさ、女の想いを三曲の演奏からも充分に味わいました。

5/26 (武藤)

## ノイエス朝日「展覧会」のご案内

## 山名將夫展

〈企画〉

会期 六月九日(土)～十七日(日)  
午前十時～午後五時(最終日は四時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日では八年ぶりの個展です。お誘い合わせの上、お出かけ下さい。

## 木村 明 ガラス展

〈企画〉

会期 六月二十三日(土)～七月一日(日)  
午前十時～午後五時(最終日は四時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

※作家在廊予定 午後一時三十分～

日常使いのガラス食器やオブジェなどの新作を展示。

透明感のある色彩溢れる作品の数々を手にとってお楽しみ下さい。

## 七月の展覧会

## 第25回 油彩画グループ 金曜会展

会期 七月六日(金)～八日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 油彩画 四季の会 第39回グループ展

会期 七月十二日(木)～十五日(日)  
午前十時～午後五時(最終日は四時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

\*少し早いお知らせですが、七月二十一日(土)～二十九日(日)までノイエス朝日は夏季休暇になります。

前橋朗読研究会「BREATH」の第二十五周年記念朗読公演が七月一日(日)に前橋の煥乎堂で開催されます。

今回は珠玉の短編6作品を読むということで、芥川龍之介「杜子春」森鷗外「高瀬舟」国木田独步「少年の悲哀」そして井伏鱒二「山椒魚」三浦哲郎「とんかつ」向田邦子「だらだら坂」です。開演は午後一時、入場料は一般前売券二五〇〇円、当日三〇〇〇円です。前売券は煥乎堂で取り扱っています。パンフレットはノイエス朝日のインフォメーションにあります。

著者が著作を語る会

「中島飛行機と学徒動員」 講師 正田喜久

日時 六月二十一日(木)午後二時～  
会場 群馬県立図書館三階ホール  
問合せ先 群馬県立図書館

## 旬な食材を求めて

今年是不順な天候が続く、キッチンに立つタイミングもはずし「山椒ふりかけ」もろくに作らずに店頭から山椒の葉が消えてしまいました。

仕方なく何度も群馬町にあるイチゴハウスに通いお店に出せるほどの「イチゴジャム」を作りました。

何回も作っていると次第に甘さやペクチンの調節がうまくいき、家族には大変好評でリクエストまでありました。

イチゴの時期もそろそろ終り、昨夜は三年子の泥付の「らっきよ」を漬け、「山椒の実の佃煮」を帰宅してから録りためたビデオの中から「パイレーツ・オブ・カリビアン」を見ながら洗ったり、皮をむいたり、山椒の茎取りをしたり・・・少々の疲れは出しましたが、リフレッシュには最適な作業です。

今朝は町内清掃で隣近所のおばさんやおじさんと雑談しながら公園で一時間を過ごしました。これまたリフレッシュになりました。雑草を抜き、袋に詰め軽度の運動です。

これからは梅の季節ですが、梅干づくりには縁がなく、やつてはみたいとは思いますが、年齢を考えずに「ものづくり」を増やしてはまた大変です。

手間暇をかけても苦にならない性分なので、困ったな・・・と思いつつ、また帰宅後に何かをやるうとしていた自分がい

5/27